

陳述書の提出等について（注意）

○競売物件の入札をするには、入札書とともに、陳述書の提出が必要となりました。

○入札ごとに陳述書が提出されなければ、入札は無効となります。

○陳述書は、以下のとおり個人用、法人用などの種類があるので該当するものを使用してください。

○陳述書の記入・押印・提出は、陳述書下部の「注意」をよく読んで行ってください。

○陳述書の記載や添付書類に不備があると、入札が無効となることがあります。※特に個人・役員名のフリガナもれに御注意ください。

○陳述書の用紙は、執行官室において入手可能です。

※該当する□にチェックを入れてください

陳述書 (買受申出人(個人) 本人用)			
大阪地方裁判所執行官 殿			
事件番号	☐ 平成 ☐ 令和	年()第 号	物件番号
私は、暴力団員等ではありません。			
私は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人の計算において買受けの申出をする者ではありません。			
☐	自己の計算において私に買受けの申出をさせようとする者は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」記載のとおりです。（注意書9参照） この者は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人ではありません。		
(陳述書作成日) 令和 年 月 日			
買受申出人(個人)	住所	〒	
	(フリガナ)		
	氏名	(印)	
	性別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	

注 意

- 陳述書は、一括売却される物件を除き、物件ごとに別の用紙を用いてください（鉛筆書き不可）。
- 事件番号及び物件番号欄には、公告に記載された番号をそれぞれ記載してください。事件番号及び物件番号の記載が不十分な場合、入札が無効となる場合があります。
- 本用紙は、買受申出人が個人の場合のもので、法人の場合は、法人用の用紙を用いてください。また、買受申出人に法定代理人がある場合（未成年者の親権者など）は、買受申出人（個人）法定代理人用の用紙を用いてください。
- 共同入札の場合には、入札者ごとに陳述書及び添付書類を提出してください。
- 「暴力団員等」とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者」を指します。
- 陳述書は、氏名、住所、生年月日及び性別を証明する文書（住民票等）を添付して、必ず入札書とともに提出してください。提出がない場合、入札が無効となります。
- 氏名、住所、生年月日及び性別は、それらを証明する文書のとおり、正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 買受申出人が宅地建物取引業者の場合には、その免許証の写しを提出してください。
- 自己の計算において買受けの申出をさせようとする者（買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。）がある場合は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付が必要です。
- 提出後の陳述書及び添付書類（別紙を含む）の訂正や追完はできません。
- 虚偽の陳述をした場合には、6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処せられることがあります（民事執行法213条）。

※該当する□にチェックを入れてください

陳述書 (買受申出人(法人) 代表者用)			
大阪地方裁判所執行官 殿			
事件番号	☐ 平成 ☐ 令和	年()第 号	物件番号
陳述	当法人は、暴力団員等が役員である法人ではありません。		
	当法人は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人の計算において買受けの申出をする者ではありません。 ☐ 自己の計算において当法人に買受けの申出をさせようとする者は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」記載のとおりです。（注意書9参照） この者は、暴力団員等又は暴力団員等が役員である法人ではありません。		
(陳述書作成日) 令和 年 月 日			
買受申出人(法人)	代表者	法人の所在地	〒
		法人の名称	
		代表者氏名	(印)
		役員	別紙「買受申出人(法人)の役員に関する事項」のとおり

注 意

- 陳述書は、一括売却される物件を除き、物件ごとに別の用紙を用いてください（鉛筆書き不可）。
- 事件番号及び物件番号欄には、公告に記載された番号をそれぞれ記載してください。事件番号及び物件番号の記載が不十分な場合、入札が無効となる場合があります。
- 本用紙は、買受申出人が法人の場合のもので、個人の場合は、個人用の用紙を用いてください。
- 共同入札の場合には、入札者ごとに陳述書及び添付書類を提出してください。
- 「暴力団員等」とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者」を指します。
- 陳述書は、必ず入札書とともに提出してください。提出がない場合、入札が無効となります。
- 所在地、名称及び代表者氏名は、資格証明書（代表者事項証明、全部事項証明等）のとおり、正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 買受申出人が宅地建物取引業者の場合には、その免許証の写しを提出してください。
- 自己の計算において買受けの申出をさせようとする者（買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。）がある場合は、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付が必要です。
- 提出後の陳述書及び添付書類（別紙を含む）の訂正や追完はできません。
- 虚偽の陳述をした場合には、6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処せられることがあります（民事執行法213条）。

(別紙)
※該当する□にチェックを入れてください

買受申出人(法人)の役員に関する事項			
1 ☐ 代表者	住所	〒	
	(フリガナ)		
	氏名		
	性別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	
2	住所	〒	
	(フリガナ)		
	氏名		
	性別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	
3	住所	〒	
	(フリガナ)		
	氏名		
	性別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	
4	住所	〒	
	(フリガナ)		
	氏名		
	性別	☐ 男性 ☐ 女性	
	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 西暦 年 月 日	

注 意

- 買受申出人が法人の場合は、本書面の提出が必要です。提出がない場合、入札が無効となります。
- 役員全員（代表者を含む）の氏名、住所、生年月日及び性別を正確に記載してください。記載に不備がある場合、入札が無効となる場合があります。
- 役員の氏名、住所、生年月日及び性別などを証明する文書（住民票等）の添付は不要です。
- 役員が5人以上の場合は、本用紙を複数枚用いてください。
- 提出後の本書面の訂正や追完はできません。

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 7月29日

大阪地方裁判所第14民事部

裁判所書記官 上 本 聡 宏

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 8月13日 午前 9時00分から 令和 7年 8月20日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 7年 8月26日 午前 9時30分 場 所 大阪地方裁判所執行部等合同庁舎3階開札場
売却決定 期日	日 時 令和 7年 9月 8日 午前10時00分 場 所 大阪地方裁判所第14民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによります。 (1) 当部の当座預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、 全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫 の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地です。権限を有する行政庁が交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を要しない者に限り、買受けを申し出ることができます。

一般の閲覧に供するため、令和 7年 7月29日午前9時から入札期間最終日午後4時30分まで物件明細書、現況調査報告書及び評価書の各写しを大阪地方裁判所執行部等合同庁舎3階物件明細閲覧室に備え置きます。



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	760,000 608,000	一括	160,000	不明	不明
1	630,000				
2	130,000				



物 件 目 録

1 所 在 枚方市星丘一丁目
地 番 319番9
地 目 宅地
地 積 27.03平方メートル

共有者 A 持分2分の1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 枚方市星丘一丁目319番地7、319番地8、319番地9、319番地10

構 造 木造瓦葺2階建

床 面 積 1階 89.43平方メートル
2階 84.46平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 星丘一丁目319番9

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺2階建

床 面 積 1階 20.13平方メートル
2階 19.62平方メートル

共有者 A 持分2分の1

物 件 明 細 書

令和 7年 6月17日

大阪地方裁判所第14民事部

裁判所書記官 上 本 聡 宏

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

隣地(地番319番10等)との境界が不明確である。

【物件番号1, 2】

本件不動産は共有持分についての売却であり、買受人は、当該物件を当然に使用収益できるとは限らない。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません(訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります)。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。



- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 枚方市星丘一丁目
地 番 319番9
地 目 宅地
地 積 27.03平方メートル

共有者 A 持分2分の1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 枚方市星丘一丁目319番地7、319番地8、319番地9、319番地10

構 造 木造瓦葺2階建

床 面 積 1階 89.43平方メートル
2階 84.46平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 星丘一丁目319番9

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺2階建

床 面 積 1階 20.13平方メートル
2階 19.62平方メートル

共有者 A 持分2分の1



令和 7 年(ヌ)第 52 号
令和 7 年 4 月 10 日受理
令和 年 月 日提出
7.5.19

現況調査報告書

大阪地方裁判所

執行官 園 久 典

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 枚方市星丘一丁目
地 番 3 1 9 番 9
地 目 宅地
地 積 2 7 . 0 3 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 枚方市星丘一丁目 3 1 9 番地 7、3 1 9 番地 8、3 1
9 番地 9、3 1 9 番地 1 0

構 造 木造瓦葺 2 階建

床 面 積 1 階 8 9 . 4 3 平方メートル
2 階 8 4 . 4 6 平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 星丘一丁目 3 1 9 番 9

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺 2 階建

床 面 積 1 階 2 0 . 1 3 平方メートル
2 階 1 9 . 6 2 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1



不 動 産 の 表 示		「物件目録」のとおり					
住 居 表 示		枚方市星丘1丁目8－28					
土 地		物件1					
現 況 地 目	■宅地（物件1） □公衆用道路（物件 ） □						
形 状	□公図のとおり □地積測量図のとおり □建物図面（各階平面図）のとおり ■土地建物位置関係図のとおり □						
占 有 者 及 び 占 有 状 況	■土地所有者 □その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している □「占有者及び占有権原」のとおり						
下 記 以 外 の 建 物 （目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）						
そ の 他 の 事 項	「その他の事項」のとおり						
建 物		物件2					
種 類 ， 構 造 及 び 床 面 積 の 概 略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点異なる（□主たる建物 □附属建物） □種 類： □構 造： □床面積：						
物件目録にない 附 属 建 物	■ない 種 類： { □ある 構 造： { 床面積： }						
占 有 者 及 び 占 有 状 況	■建物所有者 □その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している □「占有者及び占有権原」のとおり						
上 記 以 外 の 敷 地 （目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）						
そ の 他 の 事 項	「その他の事項」のとおり						
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	■ない [地方裁判所 支部 平成 年()第 号 □ある [保管開始日 平成 年 月 日						
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり ■土地建物位置関係図のとおり						

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2枚目)

その他の事項

1 表札等の表示

- (1) 表札の表示 Aの姓名およびAの家族の名（漢字）
- (2) 郵便受けの表示 Aの姓（漢字）

2 目的土地の現況について

- (1) 目的土地について地積測量図等を参考に適宜概測したところ、形状は概ね土地建物位置関係図のとおりであり、公簿面積とほぼ一致すると思われるが、現地では境界標等がなく隣接地等との境界が不明であることや検尺が概測であること等より、正確な現況把握及び地積の確定には隣地所有者等の関係者立会の下、専門家の測量に基づき確定を要する。
- (2) 目的土地は目的建物の敷地をなしている。
- (3) 目的土地の接面道路は、建築基準法上の道路である。

3 目的建物の現況について

- (1) 目的建物は、4戸にて構成される連棟式建物の南西から2戸目の建物である。
- (2) 目的建物の形状は、概ね間取略図のとおりであると思われる。
- (3) 目的建物内部の状況は別紙添付写真のとおりであり、家財道具、日常生活用品等の動産類が存在する。
- (4) 目的建物は全体的に、床の撓み、外壁の傷みがみられた。また2階北西側和室の天井に雨漏りによるものと思われるシミ及び木目化粧シール等の剥がれが、2階南東側和室の壁面に穴・亀裂等の損傷が、それぞれ見られた。
- (5) 上記の他、目的建物には経年相当の劣化、損耗が認められた。

4 その他

本件は物件1・2につき共有持分2分の1の売却である。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3枚目)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■ A (所有者)	1、目的建物は、私と長男が住居として使用しています。 2、目的土地に関して、境界争いや権利争いはありません。 3、目的建物は、増築・改築等していません。 4、目的建物は1年ほど前まで雨漏りしていましたが、現在は修繕したので雨漏りしません。 5、目的物件の相共有者は私の妻です。
■ 枚方市役所固定資産 税課職員	登記面積と課税面積の差異については、図面等に記載がないので断言できませんが、計測方法の違い（内法面積と壁芯面積）だと思われます。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執 行 官 の 意 見

目的物件の占有関係

関係人の陳述、提示文書及び立入調査の結果から、目的建物は所有者が、住居として使用、占有しているものと認める。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(5枚目)

調査の経過

調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7 年 4 月 1 0 日 9:15-9:40	大阪法務局 北大阪支局	公図等調査
7 年 4 月 1 0 日 11:10-11:15	中之島図書館	物件確認
7 年 4 月 1 1 日 9:50-10:10	枚方市役所	道路及び課税関係調査
7 年 4 月 1 1 日 11:25-11:35	物件所在地	物件及び占有確認、Aの子と面談、照会書手交
7 年 4 月 1 7 日 17:55-18:00	物件所在地	在宅要請書投函
7 年 4 月 1 8 日 10:40-10:45	執務場所	Aより電話・聴取
7 年 4 月 2 2 日 9:15-10:10	物件所在地	立入調査（評価人帯同）、Aと面談

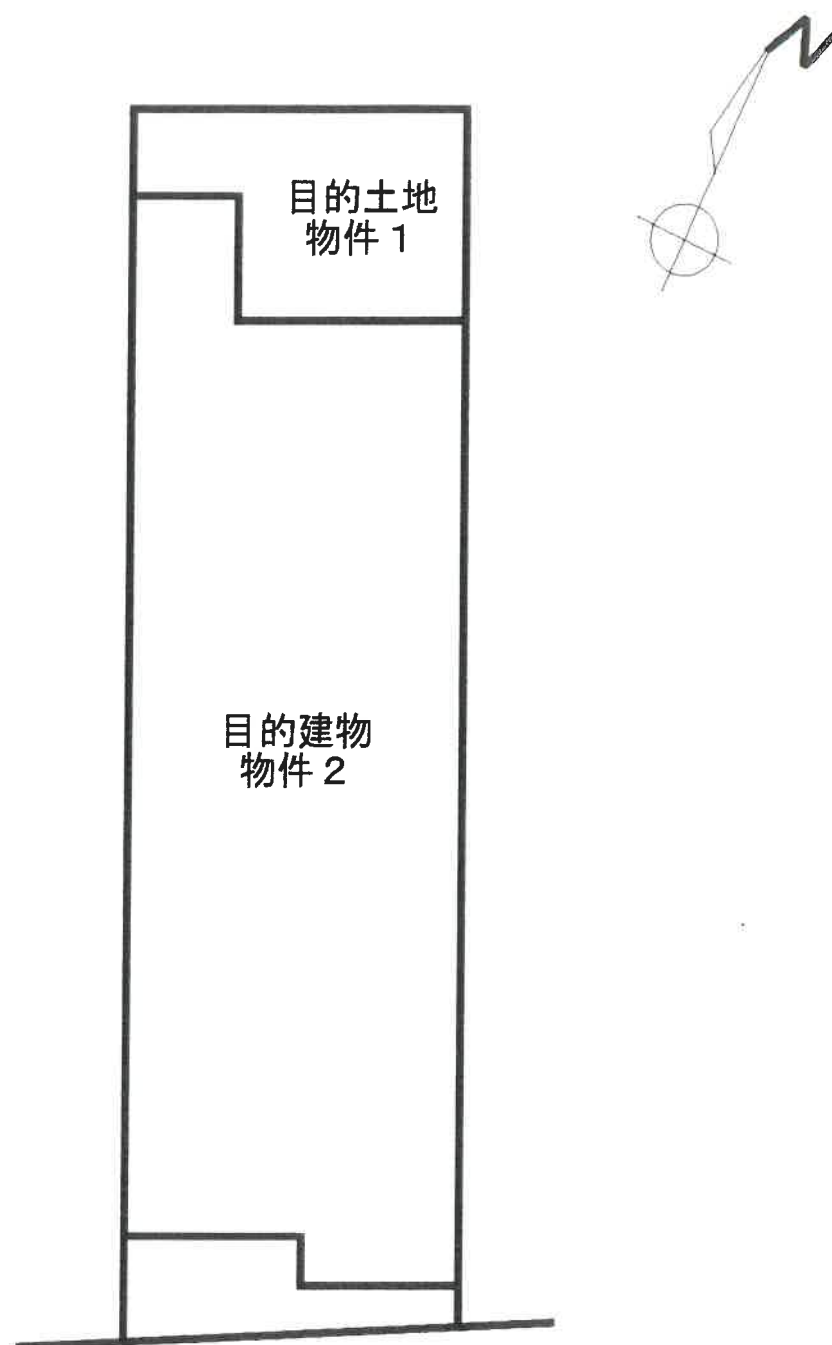
(特記事項)

- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。
- ☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(6枚目)

土地建物位置関係図



幅員約 4.7 m 道路

①

(検尺は概測である)

(←○ 写真撮影位置・方向)

(7 枚目)



1 目的建物



2



3



(10 枚目)

4



5



(11 枚目)



7 天井の雨漏り跡（シミ・剥がれ）



8



9 壁面の陥没



(13 枚目)

令和7年（ヌ） 第52号
令和7年4月22日 現地調査
令和7年5月6日 評 価

大阪地方裁判所 第14民事部 御中

評 価 書
(土地付建物・共有持分)

評価人 不動産鑑定士

谷 勝博

第1 評価額

一括価格	
金 760,000円	
内訳価格	
物件1	金 630,000円
物件2	金 130,000円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の要因（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	物件目録記載のとおり	同左
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載のとおり	同左
番号	特 記 事 項		
1	① 現地計測と地積測量図との照合より、登記数量と現地計測の概測数量は概ね一致した。但し、現地では境界標等がなく隣接地等との境界が不明であることや検尺が概測であること、一部検尺が出来なかったこと等より、正確な現況把握及び地積の確定には隣地所有者等の関係者立会の下、専門家の測量に基づき確定を要する。		
2	① 建物図面と現況は概ね一致した。 ② 目的建物は4戸にて構成される連棟式建物の南西より2戸目の建物である。		
1・2共通	① 本件目的物件（物件1, 2）は持分1/2のみである。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	京阪交野線 星ヶ丘駅 西方 道路距離 約200m (別添「位置図」参照)	
付近の状況	戸建住宅・連棟式住宅・マンション等が建ち並ぶ住宅地域。将来的にも、現状の土地利用状況を維持していくものと思料される。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	市街化区域
	用途地域	第2種中高層住居専用地域
	建ぺい率	60%
	容積率	200%
	防火規制	準防火地域
	その他の規制	第2種高度地区、宅地造成工事規制区域、景観計画区域（景観形成区域・河川景観軸「天野川沿岸区域」）、屋外広告物条例規制区域（河川軸制限区域「重点制限区域」）、河川保全区域、立地適正化計画（居住誘導区域）、埋蔵文化財包蔵地（星丘西遺跡）
画地条件	規模	27.03㎡ …持分1/2
	形状	概長方形
	間口・奥行	間口約2.7m・奥行約9.8～9.9m
	高低差等	高低差無し
接面道路の状況	南東側	幅員約4.7m私道（建築基準法第42条1項5号）
	接道状況	中間画地、等高接面
土地の利用状況等	現況	連棟式住宅（物件2）の敷地の用に供されている。
	北東側	連棟式住宅
	北西側	戸建住宅
	南東側	道路
	南西側	連棟式住宅
供給処理施設	上水道	あり
	ガス配管	あり
	下水道	あり（処理区域内）
	（注）供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、「施設管」という。）が通っており、通常の費用で敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	
土壌汚染等	目的土地の分筆前土地の閉鎖登記簿からは不動産会社の所有者名、宅地・田の登記簿地目の履歴が確認された。過去の住宅地図によると、現建物建築以前は地図上に詳細な記載がなく不明であるが農地・未利用地等と推定され、土壌汚染の可能性は低いものと思われる。なお土壌汚染の有無及び内容について確実な情報を得るには、土壌汚染調査会社による調査を要する。	
特記事項	特に無し。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存耐 用年数等	建築年月日	（登記記載）昭和50年1月10日新築
	経過年数	約50年
	経済的残存耐用年数	約0年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	瓦葺
	外 壁	モルタル等
	内 壁	砂壁等
	天 井	ビニールクロス貼・合板等
	床	フローリング・畳等
	設 備	電気、給排水設備等
	その他	特になし
床面積（現況）	延 39.75㎡ 増築はなく、登記と現況数量はほぼ同じである。	
現況用途等	階 層	2階建
	現況用途	居宅
	間取り	3 K
品 等	やや劣る	
保守管理の状態	やや劣る	
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり	
特 記 事 項	① 目視した限りにおいて、アスベスト含有吹付け材等の使用は認められなかった。なお、飛散性・準飛散性アスベスト含有材料の有無及び内容についての詳細は専門業者による調査を要する。 ② 設備等の稼働の状況を確認したものではない。 ③ 1階玄関・台所付近・1階和室・便所と浴室の間の床にたわみ等が感じられた。2階北西側和室の天井に雨漏り等によると思われる木目化粧シール等の剥がれが見られた。2階南東側和室の壁に穴・亀裂等の損傷が見られた。外壁に亀裂等の損傷が見られた。その他、室内全体に概ね経年相当の劣化・汚損が見られた。 ④ 建築確認有り、検査済証無し。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格等を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格等 (円) (千円未満四捨五入) オ (ア×イ×ウ×エ)
1	125,000	1.03	27.03	0.90	3,132,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 枚方-6

$$\begin{array}{ccccc} \text{公示価格等} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} \\ 139,000\text{円/㎡} & \times 100.7/100 & \times 100/103 & \times 100/109 & = 125,000\text{円/㎡} \end{array}$$

◇時点修正： 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：	接面・方位（南西）	規模	形状	その他	総合（相乗積）
	1.03	1.00	1.00	1.00	1.03

◇地域格差：	街路	接近	環境	行政	総合（相乗積）
	0.98	0.99	1.15	0.98	1.09

イ 個別格差：	接面・方位（南東）	規模	形状	その他	総合（相乗積）
	1.03	1.00	1.00	1.00	1.03

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) (千円未満四捨五入) エ (ア×イ×ウ)
2	180,000	39.75	0.04	286,000

ウ 現価率

経過年数 約50年

経済的残存耐用年数 約0年

観察減価 30%

残価率 5%

耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

現価率 = { 残価率5% + (1 - 0.05) × 経済的残存耐用年数0年 / (経過年数50年 + 経済的残存耐用年数0年) } × (1 - 0.3)

= 0.04

※観察減価は維持管理・補修等の状況及び中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) (千円未満四捨五入) ウ (ア×イ)
2	3,132,000	0.10	場所的利益	313,000

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ, 1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	共有 持分 割合 ウ	占有 減価 エ	市場性 修正 オ	競売市 場修正 カ	その他の 控除減価 (敷金等) (円) キ	評価額 (円) (万円未満四捨五入) ク [(ア+イ) × ウ × エ × オ × カ × キ]
1	3,132,000	－ 313,000	1/2		0.64	0.70		630,000
2	286,000	＋ 313,000	1/2	1.00	0.64	0.70	0	130,000
一括価格 (合計)								760,000

エ 占有減価

本件の場合不要。

オ 市場性修正

以下の減価要因を考慮して、市場性修正率として0.64 (0.8×0.8) を乗じた。

- ① 共有持分であることによる利用効率の低下等による市場性の減退等 (0.8)
- ② 築古の連棟式住宅であること等による市場性の減退等 (0.8)

カ 競売市場修正

「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場特有の要因を考慮のうえ、競売市場修正率を0.70と決定した。

キ その他の控除減価 (敷金等)

本件の場合不要。

第6 参考価格資料

1 地価公示 枚方-6

所 在 : 枚方市星丘3丁目522番18「星丘3-13-10」
価 格 : 139,000円/㎡
位 置 : 京阪交野線 星ヶ丘駅 南東方 約300m
価格時点 : 令和7年1月1日
地 積 : 103㎡
供給処理施設 : 水道, ガス, 下水
接面街路 : 南西4m私道
用途指定等 : 第1種低層住居専用地域 (建ぺい率50%, 容積率100%)
地域の概要 : 中小規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和6年度)

物件 1 : 1,593,769円 …持分1/2
物件 2 : 525,152円 …持分1/2

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 3 建物図面・各階平面図写
- 4 土地建物位置関係図
- 5 間取略図

以 上

物 件 目 録

1 所 在 枚方市星丘一丁目
地 番 319番9
地 目 宅地
地 積 27.03平方メートル
共有者 A 持分2分の1

2 (一棟の建物の表示)

所 在 枚方市星丘一丁目319番地7、319番地8、319番地9、319番地10
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 89.43平方メートル
2階 84.46平方メートル

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 星丘一丁目319番9
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 20.13平方メートル
2階 19.62平方メートル
共有者 A 持分2分の1







(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	枚方市星丘一丁目				地番	319番7			
出力	縮尺不明	精度	座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面				種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年1月30日
大阪法務局枚方出張所
登記官

登記年月日：昭和49年11月25日

102867 前319-1 後新

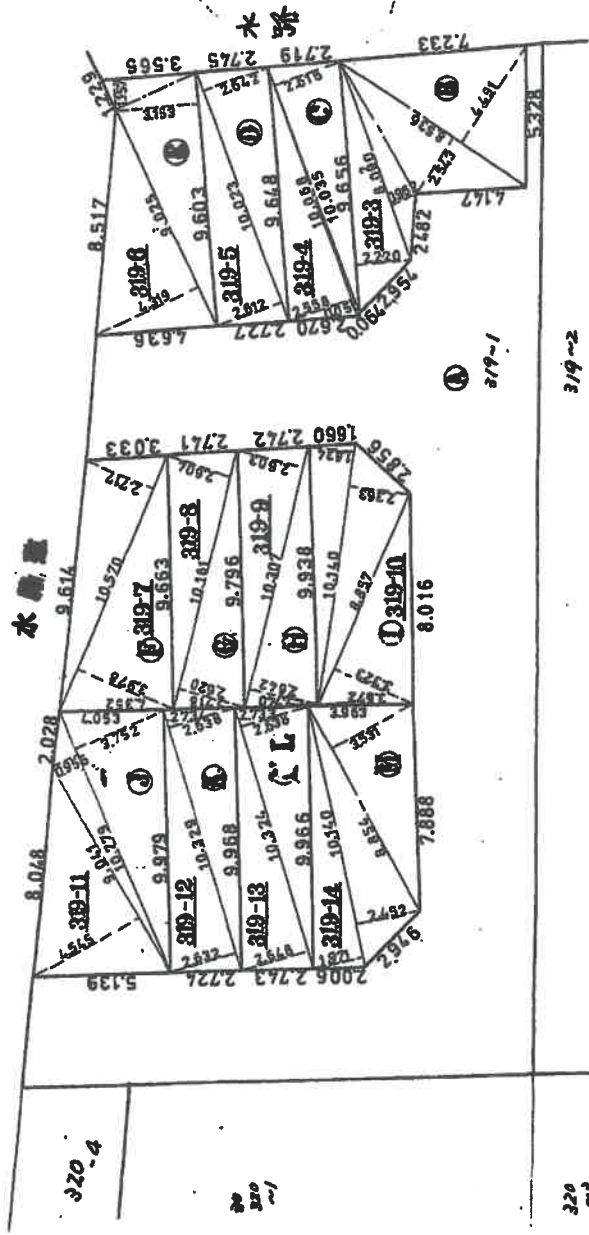
地番	319-1-3-14
土地の所在	枚方市星丘1丁目

地積測量図

549.11.25

2-1

作製年月日	昭和49年11月25日
作製者	



縮尺 1/8=1/200

これは図面に記載されている内容を証明した図面である。
令和7年1月30日 大阪府枚方市役所

登記官

102868

地番	319-1-3-14
土地の所在	枚方市屋丘1丁目

地積測量図

入地

昭和49年11月25日

2-2

作製年月日
作製者

面積計算

記号	延	高さ	倍面積	面積
	8.536	4.491 + 2.543	80.0422	
	8.020	0.982	7.7152	
(B)	9.656	2.220	21.4363	
	計		89.1937	
~3				44.5968M ²
	10.035	2.618	26.2515	
(C)	10.068	0.065 + 2.553	26.3076	
	計		52.5592	
~4				26.2796M ²
(D)	10.023	2.642 + 2.612	52.6608	
	計		33.9789	
~5				28.3304M ²
	9.025	4.218	33.9789	
	9.803	2.153	30.2782	
(E)	3.566	1.157	4.1247	
	計		73.3819	
~6				28.6909M ²
(F)	10.570	2.717 + 2.978	70.7661	
	計		35.8920M ²	

面積計算

記号	延	高さ	倍面積	面積
10.161	2.820 + 2.604		53.6810	
計				26.5405M ²
10.307	2.642 + 2.603		54.0602	
計				27.0301M ²
10.140	2.363 + 1.634		40.5285	
8.897	2.222		29.4218	
計			69.9613	
~10				24.9308M ²
10.779	0.986 + 2.752		50.7475	
9.041	4.545		41.0913	
計			91.8388	
~11				45.9194M ²
10.329	2.632 + 2.638		54.4338	
計				27.2169M ²
10.394	2.645 + 2.638		54.6726	
計				27.2363M ²
10.140	1.971 + 2.242		44.8492	
8.854	2.591		31.2634	
計			76.1126	
~14				28.0563M ²

全地積 722.0000M²
 実地積 ⑩~⑭ 396.3108M²
 残地積 ① 325.6892M²

(単位：平方メートル)

縮尺 1/

これは図面に記号されている内容を説明した書面である。
 令和7年1月30日 大阪府枚方市役所

登記官

これは図面に記載されている内容を説明した書面である。

令和7年1月30日

大阪法務局京方出務所

登記官

建物図面

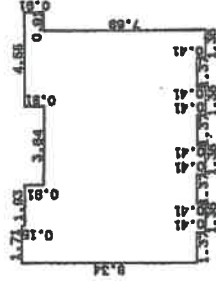
家屋番号 319.7~319.0

建物の所在 枚方市屋丘1丁目319-7.-8.-9.-10

各階平面図 450137

一棟の建物の表示

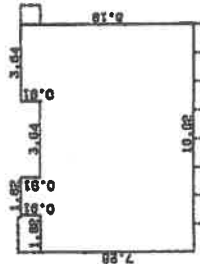
1 階



求積表

0.15 x 1.71 =	0.2565
0.91 x 4.58 =	4.1405
0.91 x 3.84 =	3.5124
7.28 x 10.92 =	79.4876
0.41 x 1.38 =	0.5576
0.41 x 1.38 =	0.5576
0.41 x 1.38 =	0.5576
合計	89.4374 m ²

2 階



求積表

0.91 x 3.84 =	3.5124
0.91 x 1.92 =	1.7472
7.28 x 10.92 =	79.4876
合計	84.7472 m ²

作製者

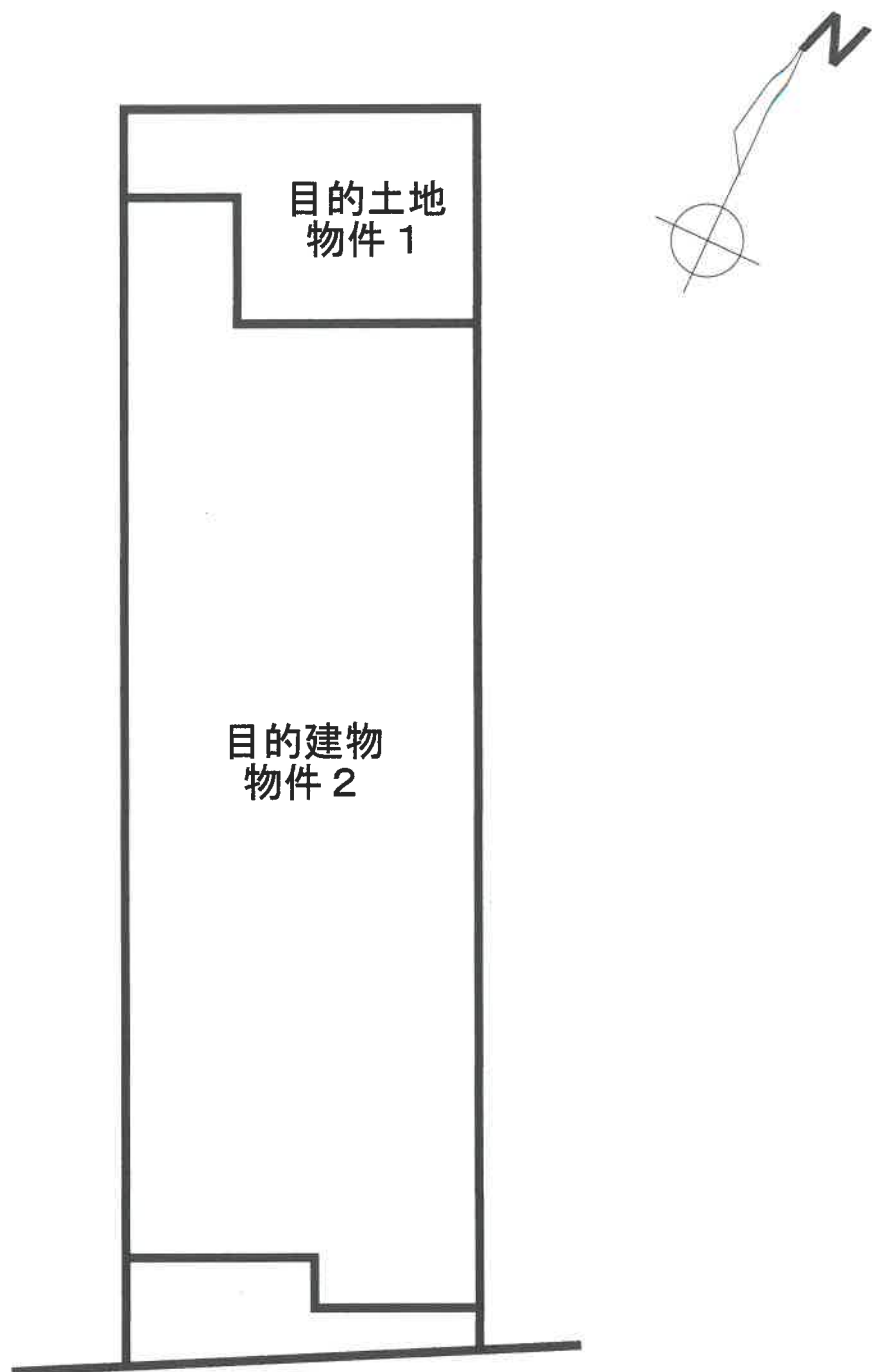
縮尺 1/250

申請人

縮尺

1/250

土地建物位置關係圖



間取略図

